

日野川の源流と流域を守る会

会 報

# ひのがわ

=第17号=



## 目 次

- 2,3 平成22年度総会・講演会
- 4 レポート 元気な森を復活させ隊  
in阿毘緑
- 5 参加者の皆さんの声/コラム「ひ  
のがわ西遊記」
- 6 募集!日野川流域憲章記念事業  
日野川フォトコンテスト
- 7 これからのイベント・行事/募集中  
森と水に親しむ活動
- 8 会員の声/編集後記



# 日野川の源流と流域を守る会 平成22年度総会・講演会



2月19日(金)、米子コンベンションセンター

米子市末広町にある米子コンベンションセンターBiG SHIP小ホールで平成22年度の日野川の源流と流域を守る会総会・講演会を開催しました。

会長あいさつ



## 源流の会への思い入れ

源流の会の会長に就任し、あらためて源流とその流域について募らせています。源流を守るとはどういうことか？源流は国のもので、国のものを勝手に守ると、ことわりもなくいいのが悩みます。ところが流域とは流れであり、もとは雨水です。雨水が川に流れると国のものにな

り、川の水を引っぱりこむためには国の許可が必要となります。

自然のものを守ること、川を守ることの意味は時代によって変わってきます。政権交代では、一票の力で政権が代わることを実感したところ です。

## 皆の力でかえよう

一人ひとりの力はたいしたことはないでしょうが、みんなの気持ちを一致させれば世の中を変えることができると思います。そういう意味でこの日野川源流の会は、壮大な構想の中にあります。多くの会員が参画し、多くの人の理解が得られれば、違った体制も考えられるのではないかと。みんなの力をこの地域の発展に貢献していくことを願っています。会員皆様のご活躍を期待します。

## 平成22年度 活動の基本方針を決定

- 森林・河川保全のボランティア活動を積極的に行う。
- 次世代を担う小中学生を対象に啓発活動を行う。
- 上流域と下流域の交流を活発にする。
- 新規会員の加入を促進し、活動基盤の強化を図る。



▲会場にて 熱心に聞き入る会員の皆さん

エントランスでは、「みんなで支える地域の宝」と題して、日野川流域で活躍されている皆さんの活動状況のパネル展示を行いました。たくさんの方が写真に見入っていました。



▲地域の宝 これからも支えます



# 講演会「生物多様性保全とエコツーリズム」 講師:日置佳之さん (鳥取大学農学部 教授)



## 鳥取大学 日置佳之教授

総会の後に、「生物多様性とエコツーリズム」と題して、ご講演をいただきました。概要を誌上報告します。

### 1 2010年は生物多様性年…100年の計画

**生物多様性とは？**

すべての生物の間に違いがあること

- 景観の多様性
- 生態系の多様性
- 種の多様性
- 遺伝的多様性

→「つながり」と「個性」  
→地球上の「いのち」と「暮らし」を支える

図 2.2 生物多様性の階層性

**3つの危機+温暖化**

- 第1の危機:  
開発などによる生態系の破壊、分断、縮小
- 第2の危機:  
自然に対する人間の働きかけが縮小・撤退することによる里地・里山などの環境の質の変化、種の減少
- 第3の危機:  
外来種など人為的に持ち込まれた種による生態系の攪乱

### 2 生物多様性の保全を…地域の健康状態

**鳥取県では何が問題か？**

- カシナガキクイムシによるナラ枯れ  
県東部から中部へ拡大中
- シカの増加による森林林床の荒廃  
県東部から拡大中
- 竹林の拡大による植生の単純化  
県全域(高標高地を除く)
- 湿原・草原・海浜(ホットスポット、Hotspot)の減少による野生植物の絶滅  
局所的だがダメージ大=保全・再生の費用対効果大
- 外来種の繁茂・繁殖による在来種の圧迫  
県全域

奥大山でもスキー場などに草原性希少種が分布

- 草原の減少に伴って、草原性希少種の生育適地が縮小
- スキー場維持のための草刈で希少種が残る

### 3 エコツーリズム…生物多様性を大切にすることは自然を活かした観光に結びつく

何故、生物多様性を大切にすることが地域おこしになるのか？

- 良い環境の存在がそれを活かした観光に結びつくから。→エコ・グリーン・フルーツーリズム
- 環境による商品やサービスのブランド化ができるから(消費者の商品選択の動機になる)。  
→良い環境で作られた安全な作物・製品  
→環境に配慮した製品、環境に貢献する企業
- 良い環境への居住・企業立地(人口増・交流人口増大・就職先・税収増)  
→田舎暮らし、地方での工場立地

古道の復元によるトレッキングコースづくり(江府町内の大山道)

### ここがポイント! まとめていただきました

**本日の講演のまとめ**

- ホットスポットの保全・再生で、効果的な生物多様性の保全を(RDBの改訂と連動させて)
- 長期的・広域的視野をもち、大胆な発想で自然再生を(大山・鳥取砂丘の保全、米子水鳥公園の整備は好例)
- 様々な主体が連携して、エコツーリズム振興の仕組みづくりを

※RDB:レッドデータブック(絶滅のおそれのある野生生物の情報をとりまとめた本)



# レポート 元気な森を復活させ隊in阿毘縁 (平成22年6月12日)

## 陽光まぶしい日南町阿毘縁

冬のあいだに荒れてしまった森林の整備をして、野草を植えました。ゆったりと森林散策をしたあと、解脱寺(げだつじ)の散策や植樹のお手伝いをしました。

### <阿毘縁の山を整理して野草を植栽>



▲まずきれいに 広葉樹の倒木や枯れ枝を整理しました。



▲心をこめて  
きれいになった森に  
キツリフネソウやクリ  
ンソウの野草を植え  
ました。



▶記念撮影  
皆で植えた野草を  
前にたくさんの笑顔



### げだつじ <解脱寺で植樹のお手伝い>



▲育てアスナロ 県指定天然記念物のモミノキ並木の後継を育てるため、アスナロの植樹をお手伝い。伝説にならない肥料として米を周囲に埋めました。



▲見上げて鐘楼門 解脱寺内を副住職の案内で散策



◀ごちそうさま  
お昼にはおいしい  
山菜弁当をいただき  
ました。その香りを表  
現できなくて残念!

今回の旅は、ボランティア団体の「プロジェクト山帰来」と地元自治組織の「阿毘縁むらづくり協議会」の皆さんの協力をいただきました。「もみの木市」の皆さんお手製の当地ならではの山菜弁当をいただきました。お世話になった皆さんに感謝します。



## 参加者の皆さんの声 (元気な森を復活させ隊 in 阿毘縁)

山野草がすくすく大きくなって、たくさんの花が咲きますようにと心をこめて植えました。初体験に感動!!

—ある会員さん—

初めての体験でしたが、大勢で作業ができて良かった。花が咲くのが楽しみです。

—U・Eさん—

…ご丁寧な植栽、ありがとうございます。植えていただいたキツリフネソウの花が咲いているそうですよ。またお越しく下さい。(事務局)

遊歩道がきちんと整備されており、感心しました。森林のグリーンに癒されました。—ある会員さん—  
空気は澄み、野草もいっぱい。木々の間から聞こえる鳥の声に心が洗われるおもいでした。—O・Uさん—

…ご参加いただき、ありがとうございます。森林には人を癒す効果があるそうです。ストレス発散や病気予防にご活用ください。森が招いています。(事務局)

おいしいお弁当をありがとうございました。作られた方のお話が聞きたかった。山菜の名前もきけるし、良いふれあいができたでしょう。

—S・Hさん—

…おいしいとの声、ありがとうございます。山菜弁当をあけたときの芳香を思い出します。早朝から作業されていたそうです。日南町の米や野菜、山菜に感謝しています。(事務局)

解脱寺は由緒あるお寺のようで、とても勉強になりました。私たちがお米を埋めたアスナロが大きく育つのが楽しみです。

—H・Sさん—

解脱寺の説明はよくわかりました。賑やかであった祭りや当時の話もうかがうことができ、頭の中でそのころの情景を想像しました。

—A・Mさん—

…ご参拝いただき、ありがとうございます。お寺の泰然とする威容に往時がしのばれます。(事務局)

## コラム 「ひのがわ西遊記」

### カタクリは招くよ! —船通山—

春光に誘われて、日野川源流をさかのぼり、日南町の船通山への小旅行に出かけた。

朝靄に煙る長く続く歩道をひた登った。途中の広葉樹林では、苔むすような木々が見え隠れしていた。わずかに体に痛痒を感じた。痛む足をさすりながら、道ばたの倒木にえいっと腰掛けた。森の芳香に促されるように、ほのかに汗を感じながら、先へ先へと歩みを進めた。

山頂では春をいただく山並みや田園を一望に眺めることができた。山の春はまだ遠いようであったが、気の早さを反省するまもなく、春を

見つけた。頂上におりたつと、見わたすかぎりのピンクの絨毯がひらけた。四方に伸びる薄紫色の花

びらは、日光を浴びてきらきらと輝いている。そっと密かにさわっても壊れそうなほど柔らかな花は、たしかに春を謳歌している。そよ風をひらりとかわす幾重の花びらをひとり眺め続けた。何か大切なことをささやくように、たくさんの花がたたずんでいる。その周辺は多くの登山客にあふれていた。老若男女の嬌声がひびき、かの大蛇も気後れしそうであった。伝説をあらわす鈍く光る石碑を仰ぎ見ながら、心地よい風に吹かれて、ごろりと一休み。思いの外、大地はしっとりとした冷たさを感じさせた。いつの間にか下山の時間は過ぎていた。

この地でも、心にさわやかな風が吹きわたり、一瞬の安らぎを感じた。気の向くままに果てしない旅は続く。(は)





## あなたの作品を募集! 「日野川流域憲章記念事業 日野川フォトコンテスト」

### 日野川流域憲章 (理念)

日野川流域の自然・環境を守り、川と私たちとのすばらしい共存に努めます。

日野川のきれいで豊かな流れが、いつまでも続くように美しい緑の森を守り、育てるように努めます。

日野川流域の交流・連携をすすめます。

日野川流域の歴史・生活文化を学び、その知識を次世代に引き継ぐように努めます。

日野川流域に培われてきた、さまざまな価値ある魅力を大切にして、継続的な地域の発展に努めます。

日野川流域を愛する人たちの輪が広がるように努めます。

### ◆ テーマ ◆

「恵み豊かな“日野川”のすばらしさ」

日野川は恵み豊かな川です。人々の暮らしや四季折々の自然景観、森林景観、街なみ風景、祭り、史跡文化財など、日野川のすばらしさを広く紹介、宣伝する写真を募集します。

### ◆ 撮影対象 ◆

日野川、源流と流域の風景、大山などの山並み、流域の人々の生活、文化など日野川に関するものなら何でも結構です。

### ◆ 賞 ◆

★**グランプリ** 1点 (賞状、副賞3万円、日野川流域の特産品)

★**金賞** 3点 (賞状、副賞2万円、日野川流域の特産品)

★**銀賞** 10点 (賞状、日野川流域の特産品)

★**佳作** 20点 (日野川流域の特産品)

※入賞は、原則として一人1作品

### ◆ 応募方法 ◆

作品1点ごとに所定の事項(作品タイトル、コメント、撮影年月、撮影場所、住所、氏名、電話番号)を明記した応募票を作品裏面に貼付して、送り先まで郵送してください。

### ◆ 写真とサイズ ◆

フィルムカメラ又はデジタルカメラで撮影した四つ切サイズ程度のプリント作品(電子データでの応募は不可)

### ◆ 応募締め切り ◆

平成22年11月30日必着

### ◆ 応募上の注意 ◆

- 応募資格に制限はありません。
- 応募点数は一人3作品までとします。なお、応募作品は未発表のものに限ります。
- 入賞者は、作品の原版(ネガもしくはポジ、電子データ)を提出してください。
- 被写体の肖像権侵害等の責任は負いません。
- 入賞作品の著作権は主催者に帰属します。
- 入賞作品は各種広報資料として活用します。入選者の氏名表示を行う場合があります。
- 応募作品は返却しません。

### ◆ 発表 ◆

平成22年12月に入賞者の方へ直接連絡します。

### ◆ 表彰式と作品展示 ◆

- 表彰式**: グランプリ及び金賞受賞者は、平成23年度日野川の源流と流域を守る会総会の席上にて表彰します。
- 作品展示**: 鳥取県日野総合事務所等で作品展示会を行います。また会報等に掲載します。

### ◆ 送り先 ◆

日野川の源流と流域を守る会事務局  
〒689-4503 鳥取県日野郡日野町根雨140-1  
電話 (0859)72-2085  
ファクシミリ (0859)72-2072

主催:日野川の源流と流域を守る会



## 案内

## 平成22年度 これからのイベント・行事

時 期	イベント名	内 容	場 所
8月29日(日)	海岸クリーン作戦	海岸クリーン作戦に参加します。清掃ボランティア終了後に、日野川に関する学習会をします。	西伯郡日吉津村富吉
10月下旬	大山道に関する学習会	牛馬の売買などで大山寺を参拝する多くの人で賑わった大山古道を地元ガイドの説明を受けながら散策します。地元の活動を盛り上げるため歩道整備などの手助けをします。	江府町御机
11月30日 (応募締め切り)	日野川流域憲章記念事業 日野川フォトコンテスト	人々の暮らしや四季折々の自然景観、街なみ風景、祭り、史跡文化財など、日野川のすばらしさを広く紹介、宣伝する写真を募集します。多数の賞と副賞をご用意しています。	流域一円
12月下旬	県産しいたけをもっと食べ隊	しいたけなどの森の恵みについての理解を深める勉強会と現地見学をします。鳥取県の隠れた逸品「ジャンボしいたけ」が味わえる。	伯耆町二部
12月下旬	会報「ひのがわ」発行	会の活動や日野川源流と流域の保全などについて情報提供・意見交換します。日野川フォトコンテスト入賞作品を紹介します。	

○イベント内容については、変更する場合があります。

○イベントの詳細や参加申し込み方法については、募集の都度ご案内します。

## 募集中!

## 平成22年度 森と水に親しむ活動を支援します

## ご活用ください!

将来を担う子どもたちや住民の方々に、ふるさと日野川の源流と流域の自然環境や日野川と関わる生活文化を守り育てていくことの大切さを体験し理解いただくため、森や水(水辺)に親しみ学ぶ活動について支援しています。

## ◆ 支援の対象となる活動:

- ・ 日野川及びその流域の森で行われる森や水に親しみ学ぶ活動やイベント
- ・ 森や水辺の自然やこれらに関わる歴史・文化などを学ぶことが盛り込まれた活動

## ◆ 支援対象となる団体や会員:

(1) 団体やグループ: 米子市、境港市、西伯郡又は日野郡に所在する小・中学校、PTA、会社、企業グループ、自治会、子ども会、公民館、ボランティアグループ、NPO団体など

(2) 本会の会員

- ・ 個人会員: 概ね10人以上が参加する事業で会員の参加が全体の2分の1以上
- ・ 法人会員: 概ね10人以上が参加する事業

◆ 支援対象となる経費: 借上料、資機材購入費、講師謝金・旅費などが支援対象

◆ 支援額: 1団体当たり7万円が支援限度  
10団体(会員)を支援予定

◆ その他: 同種の事業を継続して実施する場合、助成金の交付は3年間で限度です。

※詳細は事務局にご相談ください。

〒689-4503 鳥取県日野郡日野町根雨140-1  
鳥取県日野総合事務所 県民局内 日野川の源流と流域を守る会 事務局(担当 林原)  
電話(0859)72-2085 ファクシミリ(0859)72-2072





## 会員の声

会員の皆さんから寄せられたご意見やご要望をご紹介します

**わ** たしは、滝探検運動を提案します。日野郡には国土地理院の地図に記載のない滝がたくさんありますよ、みんなで地域の財産である滝探検をしてはどうでしょうか？国土地理院に新たな滝の名前の記載申請ができます。達成感もあるし、地域で申請するのはいかがでしょうか。歩道や距離・高低差を記載した看板も設置すべきと思います。

大山の雪形や逆さ大山、ダイヤモンド大山、などの写真を募集してはどうでしょうか。何気ない風景にすばらしいところを見つけることができるでしょう。

眺望がよい展望地をさがして、縁起の良い「望が成」、「願が成」などと名付けて、地域活性化をしてはどうでしょうか。

—C・Mさん—

……ご意見ありがとうございます。滝や地形への並々ならぬ熱意に圧倒されます。会員の皆さんで滝同好会を結成されてはいかがでしょう。

縁起の良い地名探しには大賛成です。日野川流域には、金持神社や福栄神社などの招福コースがあります。パワーをいただきましょう。

(事務局)

**近** 年は土曜日にイベントがありますが、仕事があるため参加できないことが多く、残念に思っています。この度は休みを取り参加しました。できれば日曜日に行事をしてほしいですね。

—ある会員さん—

**大** 山などのボランティアにも参加したいので、行事はできるだけ早く教えてください。日程がよく重なりますので、

—I・Sさん—

**昨** 年はたくさんのイベントがありましたが、今年は少ないようですね。友達はつまらないと言っていましたよ。どんなものでもいいですから、たくさんのイベントを作ってください。そのときは、参加させていただきます。

—Y・Yさん—

……たくさんのご意見ありがとうございます。会員の皆さんが工夫を凝らされた行事をご教示いただけないでしょうか。よろしければ情報をください。当会のイベントの一つにさせていただきますと思います。また、会員の皆さんが独自に企画や実施をされる森や水に親しむ活動への支援もしています。ぜひご活用ください。これからも本会は会員の皆さんの活動を応援します。

(事務局)

## 編集後記

ちょっとした編集子のつぶやきです



★この4月から事務局を仰せつかりました。以降、お見知りおきいただき、ごひいきにしてくださるよう、よろしく願いいたします。

★皆さまお気づきでしょうか？会報の編集方針を新たにし、会員のコミュニケーション誌となるべく、一部の紙面を刷新させていただきました。会員の皆さまのご意見やご感想をお寄せください。掲載させていただきます。また、コラム「ひのがわ西遊記」と銘打って、日野川源流から現地レポートをさせていただきました。このコーナーでは会員の皆さまからの紀行文や作文、携帯小説などの寄稿をお受けします。ど

うぞ、皆さまの隠れた逸品をご披露ください。

★日野川の豊かな恵みを皆さんにご紹介するため、「日野川フォトコンテスト」を開催しています。入賞の方には日野川流域の特産品も提供させていただきます。会員並びに関係者の皆さまの力作をお待ちしております。もちろん、日ごろのスナップ写真や記念写真も大歓迎です。肩ひじ張らずにお気軽にご応募ください。

★久々に懲りぬ駄文を披露させていただきました。とはいえ思いのほか産みの苦しみを味わったのは想定外だったかも。案ずるより安しとはいえ、今さらながらキーボードはペンよりも使い難きことを実感。次号も腕によりをかけて仕上げます。乞うご期待あれ！（編集子）